

東北大学男声合唱団OB会東京支部総会 議事録

平成23年11月27日(日) 新日鉄 代々木倶楽部

- 1 支部長挨拶 配付済みの「あいさつ」の内容の話があった。
- 2 議長選出
生馬支部長が、黒田比佐男さんを推薦し、承認された。
- 3 活動報告 事務局長小松が、資料に沿って報告。
 - (1) 現役への支援
 - (2) 3大学ジョイント
 - (3) 現役59回定期演奏会賛助
12名参加の予定だが人数が少ないので、会場費を会計支援
 - (4) 定期演奏会CD復刻販売の報告
経緯を嵯峨幹事が説明
 - (5) OBの震災被災について
亡くなったOBはでていない。
お見舞いは被災者の同期生を中心に呼びかけた例はあったが、
全体に呼びかけて見舞金を集めるということは行っていない。
- 4 会計報告 (1) 会計報告 小松が資料の内容を報告
(2) 監査報告 石川(45) 会計監事が報告
- 5 OB会 会長交代
仁科会長辞任と戸田新会長就任について、小松事務局長が経緯報告
現役時代に指導を受けた、杉山博昭さん(33)が異議なしの弁。
その他、小関康雄さんも、賛成の発言があった。
別途、戸田靖男さんの新会長の意見をといあわせていたが
柴田耕一さん、小島修さん、小関洋さんほか、賛辞が寄せられている。
満場一致で、東京支部は、戸田靖男さんの新会長就任を承認した。
- 6 東京支部役員改選について
選出方法について
生馬支部長が、下記役員候補を紹介し、承認を問う。
役員候補 支部長 北林均(44) 新任、事務局長 小松正佳(46) 留任
幹事 長崎文康(49) 留任、嵯峨秀夫(57) 留任
HP管理：栗山仁(62) 留任、会計監事 石川幸良(45) 留任
阿部幹男さんより、改選案に賛成の意見と、今回退任の生馬洋さん、松本壽浩さんへの
慰労の弁があった。
出席者の承認を得た。
新役員挨拶 北林新支部長挨拶
要旨： 活動に遠心力が付いている一方、求心力が衰えてきていないか。
仙台と連絡を密に取りながら、見直していきたい。
現役不在のOB会になるのは、食い止めなければならない。
- 7 今後の活動について
活動の方向について 小松事務局長より説明
ア、二年後、仙台での三大学ジョイントの提案がなされていることを説明
東京、仙台合同の行事で全体の結束を確認したい。
イ、60周年行事について
どのように仙台とスクラムが組めるかが課題ということで一致。
その他意見
合唱活動に参加していない者がOB会に疎遠になるようなことのないよう運営されたい。
他大学の活動を見ると、大学の所在地の組織がしっかりしている。東北大学は全般に
仙台の力が弱い。この点、我がOB会も同様で見直しが必要。
コーン青葉の活動もあるが、東京で、東北大学男声OB会の演奏会を企画して欲しい。

懇親会 記録

- 1 乾杯
小嶋明さん（26）の音頭で乾杯
- 2 福井文彦先生の「蔵王に寄す」のCD復刻報告とCD販売
嵯峨幹事が、定演CD復刻の中で、七声会の音源を見つけ、途中交流を持った東北学院グリーOBの男声合唱「蔵王に寄す」のCD復刻希望を知り、実行に移りました。
昭和51年の七声会の男声、学院の合同演奏のもの、昭和40年の第10回定演のものを収録。
この企画は好評で、用意した枚数は完売した。
- 3 現役第59回定期演奏会チケット支援
現役演奏会には、東京はご祝儀は1万円、カンパはチケットを購入という形で支援することにした。
会場内で、販売。
- 4 三大学JOINTの演奏を大画面で鑑賞
食事一服をみて、DVD鑑賞
- 5 出席者からご報告
たぬきの会報告：63、菊地和彦
63卒OB、青木大造君が7月に逝去したのを悼み、11月の東京男声合唱フェスティバルにたぬきの会を組織して参加。26名。この経緯を報告。
トンパイメモリアルズ11 報告：62、粟山仁
50年代卒OB中心に集まったグループで東京男声合唱フェスティバルに11回連続出場。
今年は34名の陣容。人気投票で第2位の結果になったこと報告。
熊谷晃さん
ご自身の演奏活動について話していただいた。
- 7 愛唱歌の全員合唱（会場を多目的室に移す）
用意した歌集の中から、順次合唱しました。

会計締め

収入	総会会費	205,000
	年会費	86,000
	計	291,000
支出	飲食費	184,904
	計	184,904
	残金	106,096
チケット、CD代	29,100	